

授業コード	00111401		
科目名	広島の産業と技術		
単位数	2.0単位		
担当者 ※授業代表教員は、先頭に表示されます。	釘宮 章光		
開講年度学期	2026年度後期	授業期間区分	通期
時間割	月曜3限	実施教室	講 7 0 2 (117名)
履修対象	1年		
関連する資格	地域貢献特定プログラム、地域志向特定プログラム		
授業形態	講義		
実施形態	対面		
オンライン／オンデマンド（その他）の理由			
授業の目的	広島県は自動車産業、造船を中心にモノ作り（製造業）が盛んであり、広島発の技術が国内、さらには世界中の様々な場面で活躍している。また、筆、針、家具など全国トップのシェアをもつ伝統産業も多い。本講義では、製造業を中心に広島県の産業の特色と、地域の産業を支える行政や大学の役割と取り組みについて、広島地域の企業、行政、大学において、実際に会社経営や、技術開発、産業振興に携わっている経営者、技術者、行政職員、大学教員等を講師として学ぶ。		
到達目標	広島県の地場産業への関心を深め、地場産業を支える科学技術・産業技術について幅広い知識を得ると共に、地域における産業振興に対する大学、行政の役割についての理解を深めることを目的とする。【知識1】広島県の伝統産業や現在の産業についての解説を通して、その特色を学び、自己のキャリア形成にもつなげる。【判断力】，【主体性】		
受講要件・履修上の留意点	前期授業「ひろしま論」を合わせて受講することが望ましい。		
履修取消の可否	可		
履修取消不可の理由			
事前・事後学修	日頃から広島地域の産業や技術に関するニュース・新聞記事等に関心を持つようにしてほしい。また、本講義は外部講師を招いての講義であり、講師に失礼にならないよう、私語、居眠り、スマートフォンの使用などを厳禁とする。これらの事項や毎回の著しい遅刻など受講態度の悪い学生は受講を許可しないことがある。		
授業内容	・イントロダクション（広島県の産業と技術の概観） ・広島県の伝統産業Ⅰ（針） ・広島県の伝統産業Ⅱ（筆） ・広島県の伝統産業Ⅲ（仏壇） ・広島県の工業Ⅰ（ハイテクセキュリティシステム） ・広島県の工業Ⅱ（化粧品） ・広島県のソフトウェア産業 ・広島県の農業・食品産業Ⅰ（精米技術・米の選別機） ・広島県の農業・食品産業Ⅱ（缶詰） ・広島県の農業・食品産業Ⅲ（ふりかけ） ・広島県の医療（医療機器・医療製品） ・広島県のITコンサルタント ・広島県のマスコミ ・広島県の観光施策 ・広島市の産業振興施策（ザ・広島ブランド） （内容は変更することがある）		
アクティブ・ラーニング			
期末試験実施の有無	実施しない		
評価方法・基準	授業参加度：20％ レポート課題：80％ 評価基準には学修の手引き記載の成績評価基準を適用する。		
課題や試験に対するフィードバック	提出したレポートは後日講評する。		
教科書等	随時、資料等を配布する。		
担当者プロフィール	H07 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻修士課程修了 H07 フランス国コンピエーヌ工科大学留学 H08 広島市立大学情報科学部助手		

	H13 工学博士（東京大学） H13 広島市先端科学技術研究所次長 H22 広島市立大学社会連携センター准教授 H27 現職 【学生の学習指導・支援体制について】 授業内容などに関する、学生の個別学習相談を随時受け付けています。 研究室：情報科学部棟6階630研究室。
--	--

授業に関連する実務経験	
キーワード	広島の地場産業・伝統産業・地域貢献・起業
教員からのメッセージ	企業等の社長、研究所長、業務担当責任者などから貴重な話を聞くことができます。今後、就職先の決定や生きていく上でのためになる講義だと思います。
備考	「広島の産業と技術」ポータルサイト： https://h-sangyou-gijutsu.jp/

(科目等履修生希望の方)	
科目等履修生の受講可否	
科目等履修生の受講要件	